



コロナ禍の2020年度の活動を振り返る 「千葉大学×京葉銀行ecoプロジェクト」実施報告会

株式会社京葉銀行（以下、京葉銀行）と国立大学法人千葉大学（以下、千葉大学）の環境ISO学生委員会（以下、学生委員会）は、2017年度よりSDGs達成に向けて、協同でecoプロジェクトを実施しています。2021年3月24日（水）に、学生委員会が京葉銀行頭取と千葉大学学長に2020年度の活動報告をオンラインで実施しました。

■本プロジェクトについて

名称：千葉大学×京葉銀行ecoプロジェクト ～7色の虹を千葉から未来へ～
目的：産学連携というパートナーシップのもと、気候変動をはじめとする地球環境問題の解決に向けたSDGsの達成に寄与していくとともに、地域の環境負荷削減と環境意識向上に貢献する。

主体：京葉銀行、学生委員会

開始：2017年7月

公式サイト：https://www.keiyobank.co.jp/ir/eco_project/



■2020年度実施報告会

日時：2021年3月24日（水）14:00～15:00

場所：オンライン（Zoom）

報告発表者：学生委員会メンバー 12名

報告対象者：京葉銀行 取締役頭取 熊谷俊行、千葉大学 学長 徳久剛史

内容：2020年度はコロナ禍での活動となりましたが、全体を通じて7個のSDGsの目標に寄与することができました。報告会では一年間の実施内容と成果について、次ページのような内容を学生から発表しました。

報告書：https://www.keiyobank.co.jp/ir/eco_project/pdf/report2020.pdf



報告会の様子（上3段：発表した学生、最下段左から2人目が徳久学長、3人目が熊谷頭取）



2020年度に寄与したSDGsの目標

■2020年度プロジェクトリーダーの学生の声（法政経学部2年 土屋健太）

2020年度は新型コロナウイルスの影響で活動内容が制限される中、このプロジェクトをどのように進めていくか、模索しながら取り組みました。「7つの環境貢献企画」では、全ての企画で新しいことに挑戦することができました。残念ながら中止となった企画もありましたが、企画や準備をした経験は決して無駄なものではないと思っています。来年度は、現在進行中の企画を遂行するとともに、今年度に培ったコロナ禍での活動のノウハウを活かして、新たな切り口、手法で企画を進めていきたいと考えています。

■報告内容

1) 京葉銀行による学生委員会の環境活動支援

学生を国内外の環境系のシンポジウムや大会等に派遣し、環境やSDGsに関する先進的な取り組みを発信することにより、サステナブルキャンパスの推進に貢献する企画です。京葉銀行は学生派遣の旅費等の資金を提供するほか、企業が持つ知見やノウハウを活かしアドバイスするなど学生を支援します。2020年度は、新型コロナウイルスの影響により、国内外に学生を派遣することはできませんでしたが、オンラインで開催された大会等に学生が参加することができました。

2) 学生による「エコアクション21」取得コンサルティング

京葉銀行が千葉県内の取引先企業を紹介し、学生が企業の「エコアクション21」(※)取得のコンサルティングを行う企画です。学生にとってはコンサルティングを通じた環境教育と企業との関わりによる社会経験となります。2020年度は、新たに2社へのコンサルティングをスタートしました。

※エコアクション21とは、環境省が策定した環境マネジメントシステムのガイドラインで、ISO14001の取得が費用や手続き面で難しい中小企業を主な対象とした規格です。



企業との打ち合わせの様子

3) 学生発案の7つの環境貢献企画

学生が立案し、地域の方や企業の方など幅広い層に対して環境負荷削減・環境意識向上を呼びかける企画です。主に学生が具体的な計画やコンテンツの作成と当日の運営を行い、京葉銀行は関係先との交渉や開催の段取りを担当します。学生にとって、普段の活動ではあまり実現できない環境教育や実務教育の機会となります。2020年度は、従来の内容での実施が難しい企画が多かったため、7つの企画を継承しつつ、コロナ禍の状況に合わせた形に変えて実施しました。

① 千葉大生と考える環境ゼミナール

学生が企業関係者を対象に、環境やSDGsに関する研修を行う企画です。

2020年度はオンラインに手法を変えて、2021年3月12日(金)に「大学と企業におけるSDGs推進の取り組み」と題した講演を行い、企業がSDGsに取り組む必要性と、複数の企業の実際の取り組み事例を紹介しました。



② こどもエコまつり

地域の子どもたちとゲームや工作の体験イベントを通じて環境について考える企画です。

2020年度はイベント開催が難しかったため学生が制作した環境意識啓発動画を、2021年1月20日(水)より京葉銀行全支店のディスプレイで放映しました。



③ 千産千消フェア～ちばを食べてエコしよう～

千葉の地産地消を促進するこの企画は、学生委員会が主催する環境イベント「Chiba Winter Fes」で、京葉銀行の取引先の農業法人や食品加工業者などが地元産品の販売を行うことで、来場者に地産地消をアピールする予定でしたが、「Chiba Winter Fes」の開催を見送るにあたり、学生が業者を取材してリーフレットを作成し、京葉銀行の支店等で地域の方に配布するという形に変更しました。現在、リーフレットを作成中です。

④ エコ発信局

京葉銀行のホームページやチラシ、動画の配信を通じ、環境負荷削減のアイデアなどを学生目線で発信し、環境意識の啓発・行動の実践を促す企画です。2020年度は、本プロジェクトの特設サイト「いそちゃんの部屋」にて、環境意識啓発の記事を多数更新しました。また、地域の皆さまに対して、コロナ禍で増えたおうち時間に園芸体験をしてもらおうと、「みんなでタネをまこう！レタスを味わおう！」を合言葉に、リーフレタスマックスの種を千葉市動物公園の来場者に配布する企画も行いました。



配布の様子

⑤ 京葉銀行エコチャレンジ

学生と京葉銀行との交流を通じて、京葉銀行内部の環境意識向上と環境負荷軽減を目指す企画です。これまでは紙使用量の削減に特化して実施してきましたが、2020年度は学生が考えたデザインを取り入れたエコグッズを京葉銀行の行員が利用する企画を進行中です。

以下⑥⑦は企画は進めたものの、新型コロナウイルス感染症の影響で今年度は中止・開催見送りとなりました。

⑥ Chibaクリーンアクション

学生と行員、地域住民が共同で自然環境や環境保護の活動を行う企画で、2019年度までは館山市沖ノ島周辺の海岸清掃や海藻の再生活動ボランティアに携わっていました。2020年度は移動制限などの状況もあり、傘のリユースを促進するという別の企画を立案しましたが、実現まで至ることができませんでした。

⑦ 映画祭 Chiba 2020

誰にでも親しみやすい「映画」という芸術面から、中学生に対して環境教育を行う企画です。2019年度に実施した中学校で今年度も実施する予定でしたが、直前で中止となってしまいました。